

平成 26 年度第 2 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 26 年 7 月 24 日(木) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、辻委員、寺田委員、高谷委員、伊藤委員、巖委員、早坂委員、笥委員、石田委員
- 事務局 : 小檜山市長公室次長、町山協働推進課長、齋藤協働推進課係長、井上事務長、高梨主幹、高柳主任主事、仁科主事

■会議次第 :

1. 開会
2. 新委員紹介
3. 委員長あいさつ
4. 議 事
 - (1)特別講座「まちづくり活動の実践を学んで行動へ」について
 - (2)平成 27 年度授業科目編成について
5. 報告事項
 - (1)市民大学冊子編集委員会(活動報告)
6. 連絡事項
7. 閉 会

■決定事項

- ・ 次回の運営委員会開催を 11 月 17 日(月)午前 10 時からとする。

■4. 議事概要

- (1)特別講座「まちづくり活動の実践を学んで行動へ」について

□事務局説明

- ・ 前回提案した『ネクストステージ』案の指摘事項を踏まえ、改案したもの。
- ・ 市の主要施策としている『少子高齢化対策』に着眼し、『子育て支援』『高齢者支援』をテーマとして方向性を決定した。
- ・ 募集については一般の方も対象とし、定員 25 名。受講しやすさを勘案して 4 回の講座で 1,000 円と設定した。
- ・ コーディネーターについては引き続き、鍋島 洋子先生に依頼する。
- ・ 第 1 回は 11 月 14 日(金)10:00～12:00 を予定。「まちづくり活動」「協働」について鍋島先生から、市の少子高齢化の現状や課題について浦安市こども部職員、健康福祉部職員

から説明をし、受講生同士の意見交換を検討している。

- ・第2回は11月21日(金)10:00~12:00を予定。実際に市内でまちづくり活動を行っている4団体を招き、事例発表をしてもらった後、意見交換を検討している。
- ・第3回は12月3日(水)午前中に柏市のNPO団体「地縁のたまご」の活動とコミュニティカフェ「茶論(さろん)」を見学する。
- ・第4回は12月12日(金)10:00~12:00を予定。ワークショップ形式で「こどもも高齢者も元気になるまちづくり活動」について意見を出し合うという内容を検討している。

□主な意見

- ・この構成を見ただけでは、受講した人たちが地域で何をすればいいという出口が見られない。
- ・わずか4回ながら起承転結があり、受講生が少子高齢化問題に取り組む活動のノウハウを十分学べるのではないか。
- ・たしかに出口の問題もあるが、それは次の段階ではないか。本講座で学んだ人たちが話し合ったり、団体に入ったりして横のつながりを持つことが大切でないか。ぜひ受講してみたい。
- ・題材は魅力的だが、また人が集まらなかったということは避けたいが12月に差し掛かると忙しくなる方も多と思う。日程はどのように調整されたのか。
- ・日程は、周知の期間を設けることとコーディネーターや講師との調整で決定した。開始の時期を早めることはできないが、第4回目を前倒しできないか検討する。
- ・やはり出口が見えないから受講する気にはならない。ディスカッションした結果を次に展開させると銘打つ必要があるのではないか。これでは協働になっていない。
- ・本講座は協働につなげていく、協働へのきっかけにするということが目的。第4回ではそのように協働に入っていけるかを議論してもらおうと考えている。
- ・協働する人たちがどう育っていくのかを考えること自体が、まさに「協働」だと思う。
- ・講座の内容が「少子高齢化」「多世代交流」を軸としていることから、主題と副題を入れ替えた方がいいのではないか。
- ・第4回でワークショップをした結果を市へ伝えます。というようなことを打ち出せば、インパクトもあり人も集まると思う。
- ・市職員でこのワークショップの結果を受ける担当者、もしくはコーディネーターとの調整担当などを設けて意見を伝わりやすくしておくといいのではないか。
- ・今後のスケジュールとしては8月中に講座日程等の練り直しと案内を行い、9月中を募集期間とする。その際、各講座でも紹介し、9月末を応募の締め切りとする予定。
- ・本講座については学長と事務局側の一任としてもらい、特に重大な問題があれば運営委員全員に連絡をする。また、手続きとしては学長が承認する。
- ・受講生の募集については学生会も協力し、学生同士で誘い合わせて参加する方法がいい。そうでないと、今回に限らず、受け身の講座に受講生が集中することになりかねない。

■4. 議事概要

(2)平成 27 年度授業科目編成について

□事務局説明

○平成 27 年度受講生募集スケジュール (案)

- ・開講期間は通年制 (6 月～翌 3 月) とし、募集を年 1 回 (3 月) とする。
- ・募集期間 平成 27 年 3 月 15 日～4 月 15 日
募集期間を一か月早めたのは、募集人数に偏りが出た場合の対策と学生会の新任についての時間を設けるため。
- ・新規入学生ガイダンス 6 月上旬
- ・開講式 6 月 20 日 (土)
- ・受講期間 6 月 22 日 (月)～翌年 3 月 31 日
- ・募集 PR 広報うらやす掲載 (3 月 15 日号)、ホームページ、ミニコミ誌等への掲載

○授業科目編成の基本的な考え方

- ・平成 26 年度と同規模の授業科目数 17 程度、授業回数 230 回以内
- ・大学事業の目的「地域貢献・協働」に貢献できる科目か
- ・「市民、学生ニーズ」「市の施策」を反映しているか
- ・上記の「目的」「ニーズ」が授業内容と一致しているか
- ・平成 25 年度の受講生アンケートを集計し評価を行う
- ・受講対象者の明確化 (初受講者向け、ステップアップ型)
- ・新規科目についてはシラバス概要及びコーディネーター候補者を検討
- ・現役世代に対応した科目の検討
- ・授業回数 (現在 10～20 回) の検討

○検討体制について

- ・学生会と市の協力体制により「カリキュラム検討ワーキング」においてカリキュラムの素案を検討する。
- ・メンバー 座長：宮崎副学長
メンバー：学生会運営企画部会 (4 名)
協働推進課長、市民大学事務長等 10 名以内

○平成 27 年度開校スケジュール (案) について

- ・平成 27 年度のカリキュラム検討は 8 月～11 月を中心に行う予定。
- ・カリキュラム検討ワーキング会議は小まめに実施していきたいと考えている。具体的には 8 月～12 月までの間におおむね 6 回程度。必要であれば、それ以上行うことも検討し

ている。

- ・運営委員会はカリキュラム検討ワーキング会議がある程度進んだ 11 月中旬頃を予定している。

□主な意見

- ・学生会からも意見があれば、運営企画部を通じて 8 月のカリキュラム検討ワーキング会議から反映させていくといいと思う。
- ・初めて市民大学に申込み方々の目を引きやすい科目として「子育て」が入っていないので入れてみてはどうか。また「経済」の講座についても浦安市に特化したものを設けてはどうか。さらに、浦安市の現状のようなものが学べる講座があると協働の原点になるのではないかと考えた。
- ・若い方向けに土曜日の講座を増やしたが、人数が多く集まらなかった結果になったが、夜間の開校をしてみてもどうか。
- ・以前、夜間に市民プラザで女性向けの講座を開講したが、勤務先から帰ってきて食事も摂らずに受講しなくてはいけないなどの意見があり、実施しなくなってしまった。
- ・スポーツジム等に通っている人がいる以上、魅力の問題でもあるのではないか。
- ・実際、夜間の開校は市役所の規則として可能なのか。
- ・定期的になると規則の変更等が必要になるが、特別講座のように臨時的であれば時間外勤務という扱いで対応できる。
- ・講座ごとに成果発表会をしているが、市民大学の主催という正式な形で行えないだろうか。ひいては募集期間に合わせて実施し、広報活動の一環とできればよいと思う。

■5. 報告事項

(1) 市民大学冊子編集委員会(活動報告)

- ・再校を元に現状報告をする。中身については引き続き確認を行う。
- ・120 ページを目途として、その中で網羅できないものは DVD を付録とする。
- ・構成等については宮崎副学長に入ってください、助言をいただいた。今回の再校についても編集委員会で確認後、再度入っていただきたいと考えている。
- ・学長・市長の対談は今月 30 日(水)予定。
- ・DVD に盛り込む資料をどうするかが未定となっている。
- ・発刊については 10 月頃を予定している。
- ・ホームページについては発刊後に検討を行う予定でいる。

□主な意見

- ・漏れがないか確認するために、DVD のリストも用意して運営委員会で報告すべきではないか。
- ・「絵で見るうらやす」の絵師の名前を凡例だけではなく各ページに載せたほうがよい。

- ・編集に携わった人たちの名前をできるだけ出していくようにしてはどうか。
- ・本誌は「うらやす市民大学の全記録」であるため、運営委員会の歴代の名簿や事務局の職員についても名前を出すべきではないか。
- ・DVDに本誌自体をデータ化して収録してはどうか。文字検索もでき、10周年記念誌の際にも引き継げる。
- ・第三章の表題「出会い・気づき・担い」と掲載内容や団体紹介との関連性を一言でも載せておいた方がいいのではないか。他の自治体の研究対象となることも考えて、明確にしておいてはどうか。
- ・市民大学の「過去・現在・未来」の「未来」が描かれていないようだが、これからの市民大学がどうあるべきかという内容を盛り込んだ方がいいと思う。編集委員会で検討した内容を載せてみてはどうか。
- ・うらやす市民大学の今後については「学長・市長対談」で方向を示してもらって考えている。
- ・座談会のような、いろんな人が様々な意見を言ったという経緯をまとめてはどうか。
- ・第三章では学生の内容を中心にまとまっているので学生会の話がもっとあってもよいのではないか。その中で今後の市民大学を語っている座談会のようなものを載せてみてはどうか。
- ・市が何をしたかということが載っていない。市民大学設立までにかかった費用や場所の選定にどれだけの苦労があったのか、何人の職員が働いているのかなども入れてもいいのではないだろうか。
- ・できるだけ多くの学生から「浦安の好きなところ」「不足しているところ」などをアンケートでとってDVDにまとめておけば、他の自治体の研究資料や市民活動の参考として役立てられるのではないか。
- ・見る人はどこに興味を持つかわからないため「全記録」を残しておく必要がある。主観を入れず、資料同士の関連を目次で詳細にまとめておき「記録集」としての価値を高めおくべきだ。

■6. 連絡事項

学生会より

- ・大懇親会を11月4日(火)18:00～ 市民プラザ Wave101 にて行う。
- ・学生会ホームページを活性化させたい。今までは学生の厚意から無償で運営していたが、今後は費用が必要になると考えている。例えば受講料に100円上乗せして学生会の会費として扱えないだろうか。
- ・プライバシーポリシーを作成したので、メールを活用して情報を公開していきたいと考えている。

□主な意見

- ・受講料で徴収すると「公費」になってしまい、学生会の資金として扱うことはできなくなってしまう。学生会で直接集めて公費と分けられれば問題はない。
- ・実際にいくら必要なかを明確にして、事務局に相談してはどうか。
- ・コーヒーやお茶代のように募金という形では集められないか。
- ・ホームページは啓発にも使えるため、なるべく活性化させて市民の目に触れさせて協働の担い手を拾いたい。

次回、第3回運営委員会開催日程は、平成26年11月17日（月）午前10時から市民大学受講室で開催。

また、会議資料については事前に用意をするが、カリキュラム検討ワーキング会議の進捗に合わせて用意をする。

以上